

評価点が4点又は5点の場合は、水色の欄に、環境配慮設計の概要を具体的に記入してください。

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
公営住宅(発寒団地2号棟)

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階				重点評価項目					■A:省エネルギー		■B:省資源		■C:緑化		■D:雪処理								
配慮項目	重点評価項目	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体														
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数															
<b>Q 建築物の環境品質</b>																									
<b>Q1 室内環境</b>																									
<b>1 音環境</b>																									
1.1 騒音																2.0		0.15		2.9		1.00		2.6	
1.2 遮音																3.0		0.50		3.0		0.50			
1.2.1 開口部遮音性能																1.0		0.50		2.8		0.50			
1.2.2 1 開口部遮音性能																1.0		1.00		3.0		0.30			
1.2.2 2 界壁遮音性能																-		-		3.0		0.30			
1.2.2 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																-		-		2.0		0.20			
1.2.2 4 界床遮音性能(重量衝撃源)																-		-		3.0		0.20			
1.3 吸音																-		-		-		-			
<b>2 温熱環境</b>																1.0		0.35		2.7		1.00		2.2	
2.1 室温制御																1.0		1.00		3.7		0.50			
2.1.1 室温																-		-		3.0		0.63			
2.1.2 外皮性能											A					1.0		1.00		5.0		0.38			
2.1.3 ゾーン別制御性																-		-		-		-			
2.2 湿度制御																-		-		3.0		0.20			
2.3 空調方式																-		-		1.0		0.30			
<b>3 光・視環境</b>																2.2		0.25		3.4		1.00		3.0	
3.1 屋光利用																3.0		0.40		4.0		0.40			
3.1.1 屋光率																-		-		5.0		0.50			
3.1.2 方位別開口																-		-		3.0		0.30			
3.1.3 屋光利用設備											A					3.0		1.00		3.0		0.20			
3.2 グレア対策																1.0		0.40		3.0		0.40			
3.2.1 屋光制御											A					1.0		1.00		3.0		1.00			
3.2.2 眩れ防止対策																-		-		-		-			
3.3 照度																3.0		0.20		3.0		0.20			
3.4 照明制御																-		-		-		-			
<b>4 空気質環境</b>																3.0		0.25		3.1		1.00		3.0	
4.1 発生源対策																3.0		0.60		3.0		0.63			
4.1.1 化学汚染物質																3.0		1.00		3.0		1.00			
4.1.2 アスベスト対策																-		-		-		-			
4.2 換気																3.0		0.40		3.3		0.38			
4.2.1 換気量																-		-		3.0		0.33			
4.2.2 自然換気性能																-		-		4.0		0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮																3.0		1.00		3.0		0.33			
4.3 運用管理																-		-		-		-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視																-		-		-		-			
4.3.2 喫煙の制御																-		-		-		-			
<b>Q2 サービス性能</b>																-		0.30		-		-		2.6	
<b>1 機能性</b>																2.6		0.40		2.0		1.00		2.1	
1.1 機能性・使いやすさ																4.0		0.40		2.0		0.60			
1.1.1 広さ・収納性																-		-		-		-			
1.1.2 高度情報通信設備対応																-		-		2.0		1.00			
1.1.3 バリアフリー計画																4.0		1.00		-		-			
1.2 心理性・快適性																1.0		0.30		2.0		0.40			
1.2.1 広さ感・景観																-		-		1.0		0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース																-		-		-		-			
1.2.3 内装計画																1.0		1.00		3.0		0.50			
1.3 維持管理																2.5		0.30		-		-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計																3.0		0.50		-		-			
1.3.2 維持管理用機能の確保																2.0		0.50		-		-			
1.3.3 衛生管理業務																-		-		-		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>																2.9		0.30		-		-		2.9	
2.1 耐震・免震																3.0		0.50		-		-			
2.1.1 耐震性																3.0		0.80		-		-			
2.1.2 免震・制振性能																3.0		0.20		-		-			
2.2 部品・部材の耐用年数																3.2		0.30		-		-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数																5.0		0.22		-		-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																2.0		0.22		-		-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔											B					3.0		0.11		-		-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔											B					-		-		-		-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔											B					3.0		0.22		-		-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔											B					3.0		0.22		-		-			
2.4 信頼性																2.4		0.20		-		-			
2.4.1 空調・換気設備																3.0		0.20		-		-			
2.4.2 給排水・衛生設備																3.0		0.20		-		-			
2.4.3 電気設備																1.0		0.20		-		-			
2.4.4 機械・配管支持方法																3.0		0.20		-		-			
2.4.5 通信・情報設備																2.0		0.20		-		-			
<b>3 対応性・更新性</b>																3.2		0.30		2.9		1.00		2.9	
3.1 空間のゆとり																-		-		2.8		0.50			
3.1.1 階高のゆとり																-		-		4.0		0.60			
3.1.2 空間の形状・自由さ																-		-		1.0		0.40			
3.2 荷重のゆとり																-		-		3.0		0.50			
3.3 設備の更新性																3.2		1.00		-		-			
3.3.1 空調配管の更新性																3.0		0.20		-		-			
3.3.2 給排水管の更新性																4.0		0.20		-		-			
3.3.3 電気配線の更新性																3.0		0.10		-		-			
3.3.4 通信配線の更新性																3.0		0.10		-		-			
3.3.5 設備機器の更新性																3.0		0.20		-		-			
3.3.6 バックアップスペースの確保																3.0		0.20		-		-			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>																-		0.30		-		-		2.7	
<b>1 生物環境の保全と創出</b>																2.0		0.30		-		-		2.0	

**CASBEE\_Sapporo2014v1.2**  
**公営住宅(発寒団地2号棟)**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目		A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理		全体
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分	住居・宿泊部分							
配慮項目	A	B	C	D			評価点	重み係数	評価点	重み係数					
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>															
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>															
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D			3.0	0.50	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C				3.0	0.50	-	-					
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>															
<b>LR1 エネルギー</b>															
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>															
住宅性能評価 断熱等級4															
5.0 0.20 - - 5.0															
<b>2 自然エネルギー利用</b>															
3.0 0.10 - - 3.0															
<b>3 設備システムの高効率化</b>															
集合住宅以外の評価(3a,3b)															
4.2 0.50 - - 4.2															
集合住宅の評価(3c)															
住宅性能の等級4															
4.2 1.00 - -															
<b>4 効率的運用</b>															
集合住宅以外の評価															
3.0 - - -															
4.1 モニタリング															
A															
4.2 運用管理体制															
A															
集合住宅の評価															
3.0 1.00 - -															
4.1 モニタリング															
A															
4.2 運用管理体制															
A															
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
<b>1 水資源保護</b>															
1.1 節水															
3.4 0.20 - - 3.4															
1.2 雨水利用・雑排水等の利用															
4.0 0.40 - -															
1 雨水利用システム導入の有無															
3.0 0.70 - -															
2 雑排水等利用システム導入の有無															
3.0 0.30 - -															
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>															
3.0 0.60 - - 3.0															
2.1 材料使用量の削減															
B															
2.2 既存建築躯体等の継続使用															
B															
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用															
B															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用															
B															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
B															
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み															
B															
躯体と仕上げ材が容易に分別可能															
4.0 0.20 - -															
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>															
3.0 0.20 - - 3.0															
3.1 有害物質を含まない材料の使用															
3.0 0.30 - -															
3.2 フロン・ハロンの回避															
3.0 0.70 - -															
1 消火剤															
B															
2 発泡剤(断熱材等)															
B															
3 冷媒															
B															
<b>LR3 敷地外環境</b>															
<b>1 地球温暖化への配慮</b>															
B															
計算による															
3.6 0.33 - - 3.6															
<b>2 地域環境への配慮</b>															
2.5 0.33 - - 2.5															
2.1 大気汚染防止															
B															
2.2 温熱環境悪化の改善															
B C D															
2.3 地域インフラへの負荷抑制															
3.2 0.25 - -															
1 雨水排水負荷低減															
B															
2 汚水処理負荷抑制															
3.0 0.25 - -															
3 交通負荷抑制															
3.0 0.25 - -															
4 廃棄物処理負荷抑制															
B D															
4.0 0.25 - -															
3.0 0.25 - -															
<b>3 周辺環境への配慮</b>															
2.5 0.33 - - 2.5															
3.1 騒音・振動・悪臭の防止															
3.0 0.40 - -															
1 騒音															
3.0 0.50 - -															
2 振動															
-															
3 悪臭															
3.0 0.50 - -															
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制															
1.6 0.40 - -															
1 風害の抑制															
1.0 0.70 - -															
2 砂塵の抑制															
-															
3 日照障害の抑制															
3.0 0.30 - -															
3.3 光害の抑制															
3.7 0.20 - -															
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策															
4.0 0.70 - -															
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策															
3.0 0.30 - -															